

2022年度 和泉短期大学 シラバス

|                  |  |  |  |       |    |
|------------------|--|--|--|-------|----|
| 授業科目名            | 保育方法   |  | 教員氏名   | 松山洋平  |    |
| 科目ナンバー           | Ⅲ-6-2-5  |  |  |       |    |
| 学年               | 2年   |  | 開講学期   | 前期    |    |
| 授業形態             | 講義   |  | 単位数  | 2単位   |    |
| 必修・選択            | 幼免必修   |  | 実務経験   | 幼稚園教諭 | 9年 |
| テーマ              | ・保育の方法の実際に触れながら、保育者が保育を展開するにあたっての基礎的な知識・技能を身に付ける。  |  |  |       |    |
| ディプロマポリシー        | 1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。   |  |  |       |    |
|                  | 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。  |  |  |       |    |
|                  | 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。   |  |  |       |    |
| カリキュラムポリシー       | 科目群Ⅰ<br>教養   | キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する                     |  |       |    |
|                  | 科目群Ⅱ<br>原理   | 様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う                 |  |       |    |
|                  | 科目群Ⅲ<br>知識・技能  | 子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身に付ける |  |       |    |
|                  | 科目群Ⅳ<br>実践   | 学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う              |  |       |    |
| 授業の概要            | <p>・本講義は講義だけでなく、学生に対してグループディスカッションや発表する機会を設けながら保育方法を基礎から学び、理解を深めことができるようにする。また、学生の実習経験の振り返りや教員自身の保育経験を交えながらより実践に近い授業を行い、学生自身が保育方法の重要性を把握し、認識できるようにする。最終的にはこの授業を通して、学生自身の教育・保育観を見出し、その保育を展開するための方法に必要な知識・技能を理解する。</p> |  |  |       |    |
| 授業の到達目標          | ・乳幼児期に育成する資質・能力を理解に基づき、保育の方法の実際に触れながら、保育者が保育を展開するにあたっての基礎的な知識・技能を身に付ける。  |  |  |       |    |
|                  | ・子ども主体の教育・保育観を身につけつつ、保育者が子どもの育ちを援助する保育の実際の方法とは何かを学ぶ。   |  |  |       |    |
|                  | ・子どもの興味・関心や遊びでの探究を、深めたり振り返ったりするための情報機器や教材の利用・作成・提示等について学ぶ。   |  |  |       |    |
| テキスト             | 『新しい保育講座 保育方法・指導法』大豆生田啓友、ミネルヴァ書房、2019  |  |  |       |    |
| 参考書              | <p>「保育の視点がわかる! 観察にもとづく記録の書き方」中央法規<br/>         ・「保育所保育指針」・「幼稚園教育要領」・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」</p>   |  |  |       |    |
| ポートフォリオ          | ・授業内で作成した教材研究課題を整理して綴じる。第1回に説明する。  |  |  |       |    |
| 往還型授業<br>(双方向授業) | 授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする   |  |  |       | ○  |
|                  | リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する   |  |  |       | ○  |
|                  | リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める  |  |  |       |    |
|                  | ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する  |  |  |       | ○  |
|                  | その他: 分散授業(対面授業7:オンライン授業6【ハイブリッド型・オンデマンド型・自己学習型】)   |  |  |       | ○  |
| 成績評価方法           | 区分   | 割合(%)  | 内容   |       |    |
|                  | 定期試験   | 0  | 実施しない  |       |    |
|                  | 授業内課題参加度<br>出席態度等  | 100  | 授業内提出課題70%、授業態度と意欲30%<br>(授業態度と意欲にはディスカッションへの参加、発表内容も含む) |       |    |
|                  | その他  |  |  |       |    |

授業概要と課題

|     |           |                                      |      |
|-----|-----------|--------------------------------------|------|
| 第1回 | テーマ<br>内容 | 保育方法とは何か、授業の展開について                   |      |
|     | 授業外学習     | 〈予習〉〈復習〉テキスト1章1, 2節を読む               | 210分 |
| 第2回 | テーマ<br>内容 | 子ども理解と保育方法(1) ・保育の基盤としての子ども理解        |      |
|     | 授業外指示     | 〈予習〉〈復習〉テキスト1章3, 4, 5節を読む            | 210分 |
| 第3回 | テーマ<br>内容 | 子ども理解と保育方法(2) ・乳幼児の理解と保育方法           |      |
|     | 授業外指示     | 〈予習〉〈復習〉テキスト2章1, 2節を読む               | 210分 |
| 第4回 | テーマ<br>内容 | 保育の基本(1) ・遊びによる総合的な指導とは              |      |
|     | 授業外指示     | 〈予習〉テキスト4章を読む<br>〈復習〉提示された課題に取り組む    | 210分 |
| 第5回 | テーマ<br>内容 | 保育の基本(2) ・乳幼児期にふさわしい園生活の展開とは         |      |
|     | 授業外指示     | 〈予習〉テキスト5章を読む<br>〈復習〉提示された課題に取り組む    | 210分 |
| 第6回 | テーマ<br>内容 | 保育方法の実際(1) ・発達の時期に応じた保育のあり方          |      |
|     | 授業外指示     | 〈予習〉テキスト6章を読む<br>〈復習〉提示された課題に取り組む    | 210分 |
| 第7回 | テーマ<br>内容 | 保育方法の実際(2) ・子どもの育ちと保育の展開(教材研究課題)     |      |
|     | 授業外指示     | 〈予習〉今まで行った教材を整理する<br>〈復習〉教材研究課題に取り組む | 210分 |
| 第8回 | テーマ<br>内容 | 保育方法の実際(3) ・教材作成案と具体的な保育展開           |      |
|     | 授業外指示     | 〈予習〉教材研究課題に取り組む<br>〈復習〉振り返り課題に取り組む   | 210分 |
| 第9回 | テーマ<br>内容 | さまざまな工夫が求められる保育                      |      |
|     | 授業外指示     | 〈予習〉テキスト5章を読む<br>〈復習〉振り返り課題に取り組む     | 210分 |

|      |           |  |      |
|------|-----------|--|------|
| 第10回 | テーマ<br>内容 | 個と集団への保育方法   |      |
|      | 授業外指示     | <予習>配布資料を読む<br><復習>Googleクラスルーム課題に取り組む                         | 210分 |
| 第11回 | テーマ<br>内容 | 情報機器を用いた保育方法・子どもの興味・関心を支える保育方法                                 |      |
|      | 授業外指示     | <予習>配布資料を読む、Googleクラスルーム課題に取り組む<br><復習>課題に取り組む                 | 210分 |
| 第12回 | テーマ<br>内容 | 保育の計画と記録と保育方法・保育者の成長と保育実践の深まり                                  |      |
|      | 授業外指示     | <予習>配布資料を読む、テキスト9章を読む<br><復習>課題に取り組む                           | 210分 |
| 第13回 | テーマ<br>内容 | 現代における保育の課題・子どもに即した保育方法に必要な関係性<br>まとめ・課題返却                     |      |
|      | 授業外指示     | <予習>幼稚園教育実習の計画と方法を復習する<br><復習>テキスト7章を読む、授業内で作成した教材研究課題を整理して綴じる | 210分 |

課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポート、課題は、次回以降の授業時に口頭やプリントにてフィードバックを行う。

2022年度 和泉短期大学 シラバス

|                  |   |  |  |        |     |
|------------------|---|--|--|--------|-----|
| 授業科目名            | 保育方法  |  | 教員氏名   | 須永 真理  |     |
| 科目ナンバー           | Ⅲ-6-2-5   |  |  |        |     |
| 学年               | 2年  |  | 開講学期   | 前期     |     |
| 授業形態             | 講義  |  | 単位数  | 2単位    |     |
| 必修・選択            | 幼免必修  |  | 実務経験   | 保育所保育士 | 10年 |
| テーマ              | ・保育の方法の実際に触れながら、保育者が保育を展開するにあたっての基礎的な知識・技能を身に付ける。   |  |  |        |     |
| ディプロマポリシー        | 1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。  |  |  |        |     |
|                  | 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。   |  |  |        |     |
|                  | 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。  |  |  |        |     |
| カリキュラムポリシー       | 科目群Ⅰ<br>教養  | キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する                     |  |        |     |
|                  | 科目群Ⅱ<br>原理  | 様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う                 |  |        |     |
|                  | 科目群Ⅲ<br>知識・技能   | 子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身に付ける |  |        |     |
|                  | 科目群Ⅳ<br>実践  | 学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う              |  |        |     |
| 授業の概要            | ・本講義は講義だけでなく、学生に対してグループディスカッションや発表する機会を設けながら保育方法を基礎から学び、理解を深めことができるようにする。また、学生の実習経験の振り返りや教員自身の保育経験を交えながらより実践に近い授業を行い、学生自身が保育方法の重要性を把握し、認識できるようにする。最終的にはこの授業を通して、学生自身の教育・保育観を見出し、その保育を展開するための方法に必要な知識・技能を理解する。 |  |  |        |     |
| 授業の到達目標          | ・乳幼児期に育成する資質・能力を理解に基づき、保育の方法の実際に触れながら、保育者が保育を展開するにあたっての基礎的な知識・技能を身に付ける。   |  |  |        |     |
|                  | ・子ども主体の教育・保育観を身につけつつ、保育者が子どもの育ちを援助する保育の実際の方法とは何かを学ぶ。  |  |  |        |     |
|                  | ・子どもの興味・関心や遊びでの探究を、深めたり振り返ったりするための情報機器や教材の利用・作成・提示等について学ぶ。  |  |  |        |     |
| テキスト             | 『新しい保育講座 保育方法・指導法』大豆生田啓友,ミネルヴァ書房,2019   |  |  |        |     |
| 参考書              | 「保育の視点がわかる! 観察にもとづく記録の書き方」中央法規<br>・「保育所保育指針」・「幼稚園教育要領」・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」   |  |  |        |     |
| ポートフォリオ          | ・授業内で作成した教材研究課題を整理して綴じる。第1回に説明する。   |  |  |        |     |
| 往還型授業<br>(双方向授業) | 授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする  |  |  |        | ○   |
|                  | リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する  |  |  |        | ○   |
|                  | リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める   |  |  |        |     |
|                  | ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する   |  |  |        | ○   |
|                  | その他: 分散授業(対面授業7:オンライン授業6【ハイブリッド型・オンデマンド型・自己学習型】)  |  |  |        | ○   |
| 成績評価方法           | 区分  | 割合(%)  | 内容   |        |     |
|                  | 定期試験  | 0  | 実施しない  |        |     |
|                  | 授業内課題参加度<br>出席態度等   | 100  | 授業内提出課題70%、授業態度と意欲30%<br>(授業態度と意欲にはディスカッションへの参加、発表内容も含む) |        |     |
|                  | その他   |  |  |        |     |

授業概要と課題

|     |           |                                      |      |
|-----|-----------|--------------------------------------|------|
| 第1回 | テーマ<br>内容 | 保育方法とは何か、授業の展開について                   |      |
|     | 授業外学習     | 〈予習〉〈復習〉テキスト1章1, 2節を読む               | 210分 |
| 第2回 | テーマ<br>内容 | 子ども理解と保育方法(1) ・保育の基盤としての子ども理解        |      |
|     | 授業外指示     | 〈予習〉〈復習〉テキスト1章3, 4, 5節を読む            | 210分 |
| 第3回 | テーマ<br>内容 | 子ども理解と保育方法(2) ・乳幼児の理解と保育方法           |      |
|     | 授業外指示     | 〈予習〉〈復習〉テキスト2章1, 2節を読む               | 210分 |
| 第4回 | テーマ<br>内容 | 保育の基本(1) ・遊びによる総合的な指導とは              |      |
|     | 授業外指示     | 〈予習〉テキスト4章を読む<br>〈復習〉提示された課題に取り組む    | 210分 |
| 第5回 | テーマ<br>内容 | 保育の基本(2) ・乳幼児期にふさわしい園生活の展開とは         |      |
|     | 授業外指示     | 〈予習〉テキスト5章を読む<br>〈復習〉提示された課題に取り組む    | 210分 |
| 第6回 | テーマ<br>内容 | 保育方法の実際(1) ・発達の時期に応じた保育のあり方          |      |
|     | 授業外指示     | 〈予習〉テキスト6章を読む<br>〈復習〉提示された課題に取り組む    | 210分 |
| 第7回 | テーマ<br>内容 | 保育方法の実際(2) ・子どもの育ちと保育の展開(教材研究課題)     |      |
|     | 授業外指示     | 〈予習〉今まで行った教材を整理する<br>〈復習〉教材研究課題に取り組む | 210分 |
| 第8回 | テーマ<br>内容 | 保育方法の実際(3) ・教材作成案と具体的な保育展開           |      |
|     | 授業外指示     | 〈予習〉教材研究課題に取り組む<br>〈復習〉振り返り課題に取り組む   | 210分 |
| 第9回 | テーマ<br>内容 | さまざまな工夫が求められる保育                      |      |
|     | 授業外指示     | 〈予習〉テキスト5章を読む<br>〈復習〉振り返り課題に取り組む     | 210分 |

|      |           |  |      |
|------|-----------|--|------|
| 第10回 | テーマ<br>内容 | 個と集団への保育方法   |      |
|      | 授業外指示     | <予習>配布資料を読む<br><復習>Googleクラスルーム課題に取り組む                         | 210分 |
| 第11回 | テーマ<br>内容 | 情報機器を用いた保育方法・子どもの興味・関心を支える保育方法                                 |      |
|      | 授業外指示     | <予習>配布資料を読む、Googleクラスルーム課題に取り組む<br><復習>課題に取り組む                 | 210分 |
| 第12回 | テーマ<br>内容 | 保育の計画と記録と保育方法・保育者の成長と保育実践の深まり                                  |      |
|      | 授業外指示     | <予習>配布資料を読む、テキスト9章を読む<br><復習>課題に取り組む                           | 210分 |
| 第13回 | テーマ<br>内容 | 現代における保育の課題・子どもに即した保育方法に必要な関係性<br>まとめ・課題返却                     |      |
|      | 授業外指示     | <予習>幼稚園教育実習の計画と方法を復習する<br><復習>テキスト7章を読む、授業内で作成した教材研究課題を整理して綴じる | 210分 |

課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポート、課題は、次回以降の授業時に口頭やプリントにてフィードバックを行う。